

福島工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	日本文化論	
科目基礎情報							
科目番号	0010			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義・演習			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	専攻科（各専攻共通：一般科目・専門関連科目）			対象学年	専1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	配布プリントを教科書とする。						
担当教員	高野 克宏,高橋 宏宣,渡邊 賢治						
到達目標							
①文学作品の背景にある文化や思想、時代状況を理解できる。 ②自分の考えを文章で表し、他の学生や教員に理解できるように伝えることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	各授業項目の内容を理解し、応用できる。			各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	日本の仏教思想、近代・現代文学の講義を通じ、日本の文化や思想、時代状況が文学作品の中にどのように表されてきたかを明らかにする。						
授業の進め方・方法							
注意点	講義の内容を覚えるだけでなく、自ら講義に関連する書籍を読み、諸問題について考えてみること。 中間試験は実施しない。期末試験は100分の試験を実施する。 定期試験の成績を70%、自学自習課題の実施状況を30%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業のガイダンス 仏陀の生涯		歴史的人物としての仏陀の人生		
		2週	仏陀の教えの要点		四諦八正道を中心とした仏陀の哲学		
		3週	仏教の成立と歴史		仏陀入滅後の教団の変遷および大乘仏教と上座部仏教		
		4週	日本における仏教受容		仏教の日本への伝播と受容		
		5週	日本文化における仏教の影響		日本の思想や文学における仏教の影響		
		6週	明治期の文豪・幸田露伴の夜明け前		幕末から明治維新頃の社会状況に関して		
		7週	技術者としての幸田露伴		海外からの技術導入と文明開化		
		8週	明治期の北海道余市と幸田露伴		明治維新より約二十年後の地方の状況		
	2ndQ	9週	明治期における立身出世と文学		近代における「個」の確立		
		10週	露伴文学における求道性		時代と対峙する、人間のあるべき姿		
		11週	現代文学の潮流（1）		社会派推理小説（松本清張）について理解できる。		
		12週	現代文学の潮流（2）		時代小説（藤沢周平）について理解できる。		
		13週	現代文学の潮流（3）		現代の戦記（開高健）について理解できる。		
		14週	現代文学の潮流（4）		世界文学の標準（村上春樹）について理解できる。		
		15週	現代文学の潮流（5）		現代作家（宮本輝、村上龍、高村薫、桐野夏生）について理解できる。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験			課題		合計	
総合評価割合	70			30		100	
基礎的能力	50			20		70	
専門的能力	20			10		30	